

教科	音楽
----	----

目 標	<p>ひょうげんおよ かんしやう はばひろ かつどう とお おんがくてき みかた かんが なた はたら 表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働か せ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能 りよく つぎ いくせい めざ 力を次のとおり育成することを旨す。</p>
	<p>(1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性に りかい いて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために ひつよう かしやう きがく そうさく しんたいひょうげん ぎのう み つ 必要な歌唱、器楽、創作、身体表現の技能を身に付けるようにする。</p>
	<p>(2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながら うつく あじ き よさや美しさを味わって聴くことができるようにする。</p>
<p>(3) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の たの たいけん とお おんがくぶんか した おんがく 楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽に よって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。</p>	

将来の生活に向けて授業で付けたい力

<ul style="list-style-type: none"> ・音楽に対する興味・関心を高め、音楽の良さや美しさを感じ取る豊かな心 ・歌詞の内容や曲想などを感じ取り、イメージをもって歌唱表現しようとする力 ・楽器の音色や奏法の特徴を生かし、表現を工夫して演奏する力

関連する行事等

2年:文化祭 ステージ発表 (10月)

使用教科書

1年 暮らしに役立つ音楽(東洋館出版社)
2・3年 高校生の音楽 I (教育芸術社)

学習内容

<音楽科 1学年>

	月	単元名 (時数)	評価の観点
前期	4月・5月	日本の春夏秋冬を歌おう ・春の小川 など 歌い合わせる喜びを感じ取ろう ・校歌 ・翼をください など	(知) 基本的な姿勢や呼吸、発声を身に付けて歌っている。 (知) メロディーや歌詞を覚えて歌っている。 (知) 強弱やリズムなど楽譜に表記してある記号を理解して歌っている。 (思) 歌詞の内容をイメージしながら歌唱表現を工夫している。 (主) 歌詞が表す情景や味わいに関心をもち、意欲的に練習に取り組もうとしている。
	6月・7月	リズム譜を見て表現しよう ・リズムアンサンブル ・和太鼓 など	(知) 音符や休符の名称と意味を理解している。 (思) リズム譜を見て、音楽の特徴(拍子やリズムなど)を感じ取りながら器楽表現を工夫している。 (主) 互いに助言し合いながら意欲的に練習に取り組もうとしている。
	9月・10月	箏に親しもう ・虫づくし ・さくらさくら ・六段の調べ	(知) 箏の正しい扱い方、名称を理解している。 (知) 糸の番号と位置を覚え、正しい姿勢や奏法を意識して箏を演奏している。 (思) どの糸も同じ強さや音色で弾けるよう、楽器の傾斜に合わせて爪の角度を調整するなど、表現の工夫をしている。 (主) 箏の構造や歴史に興味をもち、練習に意欲的に取り組もうとしている。
後期	11月	日本の舞台芸術を楽しもう 一能と狂言一 ・道成寺 ・附子 など 一歌舞伎一 ・京鹿子娘道成寺 など	(知) 長唄の表現の多様性を知り、歌舞伎における音楽の役割について理解している。 (思) 曲想の変化と心情や場面の関係を感じ取りながら、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 (主) 伝統芸能の特徴を楽しみながら鑑賞しようとしている。
	12月	映像における音楽の効果を感じよう ・JAWS ・ET など ※教科書 高校音楽I Music View	(知) 物語と音楽の関わりを、映像作品における音楽の役割や効果から理解している。 (思) 音楽を聴いて感じたことを、音楽を形づくっている要素と関連付けて表現している。 (主) 作曲家による表現の特徴に関心をもち、曲のよさを味わって聴こうとしている。
	1月・2月	生活の中にある音楽に親しもう ・いろいろな音や音楽 ・Happy Birthday To You など	(知) キーボードを弾くために必要な奏法を身に付け、楽譜どおりに演奏している。 (思) 生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 (主) より良い演奏となるよう考えながら、練習に取り組もうとしている。
	3月	思いを込めて合唱しよう ・卒業の歌	(知) 正しい姿勢や呼吸、発声で歌っている。 (思) 歌詞が表す情景や味わいを意識しながら歌唱表現を工夫している。 (主) 自分が感じたことや友達の気付きを取り入れながら歌おうとしている。

学習内容

<音楽科 2学年>

	月	単元名 (時数)	評価の観点
前期	4・5月	外国の歌を歌おう ・野ばら(F.シューベルト) ・野ばら(H.ヴェルナー) ・我が太陽(E.d.カープア) など	(知)ドイツ語のリズムを感じながら、強弱を意識して歌詞を音読している。 (思)イタリア語の発音の特徴を捉え、曲の雰囲気味わいながら歌唱表現している。 (主)ドイツ歌曲とイタリア歌曲それぞれの曲調に関心をもって歌おうとしている。 (5)
	6・7月	リズムを楽しもう ・リズムクラッピング ・ROCK TRAP ・カブス など	(知)リズムを見ながら拍子やリズム、強弱などの音楽の特徴を生かして、楽譜どおりに身体表現している。 (思)他のパートを意識しながら、イメージをもって表現を工夫をしている。 (主)友達とタイミングを合わせながら、リズムや身体表現の練習に取り組もうとしている。 (5)
	9・10月	華アンサンブルをしよう ・さくらさくら	(知)正しい姿勢や、曲にふさわしい奏法を身に付けている。 (思)全体の響きや他の旋律を聴きながら、表現効果を考えて演奏している。 (主)互いに助言し合いながら意欲的にペア練習に取り組もうとしている。 (7)
後期	11月	ポピュラー音楽のルーツを探ろう ・世界のポピュラー音楽 ・日本のポピュラー音楽	(知)当時のポピュラー音楽とその音楽が生まれた文化的・歴史的背景を関連付けて理解している。 (思)世界と日本のポピュラー音楽を歴史的流れから捉え、音楽文化が生活や社会とどう関わっているか考えている。 (主)さまざまなジャンルのポピュラー音楽の異なる曲調に関心をもって聴こうとしている。 (2)
	12・1月	郷土の芸能に親しもう ・各地域に伝わる芸能・祭り・民謡 ・さまざまな音楽のあり方	(知)民謡が、人々の暮らしと結びついて伝承されてきたことを理解している。 (思)それぞれの民謡が歌われる目的や特徴(囃子ことば、リズム、楽器、音階など)を感じながら聴いている。 (主)日本の伝統音楽と様々な国の音楽を比較し、音楽の違いや特徴に関心をもって鑑賞、表現しようとしている。 (6)
	2・3月	オーケストラを知ろう ・交響曲第9番(ベートーベン)	(知)様々な楽器の種類や特徴、オーケストラでの配置などを理解している。 (思)曲の構成に込められた作曲者の思いを感じ取っている。 (主)曲の構成に関心をもって鑑賞したり歌ったりしようとしている。 (6)

学習内容

<音楽科 3学年>

	月	単元名 (時数)	評価の観点
前期	4・5月	日本歌曲の魅力 ^{にほんかきよく みりよく あじ} を味わ ^{うた} って歌おう ・この道 ^{みち} など	(知)楽譜 ^{がくふ} に表記 ^{ひょうき} された音楽記号 ^{おんがくきごう} の意味 ^{いみ} を正しく ^{ただ} 理解 ^{りかい} している。 (知)鼻濁音 ^{びだくおん} や子音 ^{しいん} の発音 ^{はつおん} に留意 ^{りゆうい} し、日本語 ^{にほんご} の歌詞 ^{かし} を美しく ^{うつく} 際立 ^{きわだ} たせて歌 ^{うた} っている。 (思)楽譜 ^{がくふ} に細 ^{こま} かく指示 ^{しじ} された強弱 ^{きやうじやく} の変化 ^{かへん} を通して、作曲 ^{さくぷく} 者が表現 ^{ひょうげん} しようとした情景 ^{じやうけい} を想像 ^{さうぞう} しながら歌 ^{うた} っている。 (主)日本歌曲 ^{にほんかきよく} の特徴 ^{とくちゆう} や表現方法 ^{ひょうげんほうほう} に関心 ^{かんしん} をもって歌 ^{うた} おうとしている。 (4)
	6・7・9月	器楽合奏 ^{きがくがっそう} を楽しもう ・威風堂々 ^{いふうどうどう} など	(知)自分の楽器 ^{じぶん がっき} の演奏法 ^{えんそうほう} と特徴 ^{とくちゆう} を理解 ^{りかい} して演奏 ^{えんそう} している。 (思)自分の楽器 ^{じぶん がっき} の特徴 ^{とくちゆう} を意識 ^{いしき} し、表現 ^{ひょうげん} を工夫 ^{くふう} しながら演奏 ^{えん} している。 (思)自分の楽器 ^{じぶん がっき} の旋律 ^{せんりつ} やリズム ^{おぼ} を覚え、音楽記号 ^{おんがくきごう} と曲 ^{きょく} の雰囲気 ^{ふんいき} の関 ^{かん} 係 ^{けい} を感じ ^{かん} ながら演奏 ^{えんそう} している。 (主)互 ^{たが} いの音 ^{おと} を聴 ^き き合 ^あ ってテンポ ^{てんぽ} や曲想 ^{きょくそう} を合 ^あ わせ、意欲 ^{いよく} をもって練習 ^{れんしゅう} しようとしている。 (20)
	10・11月	外国 ^{がいこく} の舞台芸術 ^{ぶたいげいじゆつ} を鑑賞 ^{かんしやう} しよう ・オペラ「椿姫 ^{つばきひめ} 」 ・ミュージカル「ウエスト・サイド物語 ^{ものがたり} 」 ・バレエ「くるみ割り人形 ^{わににぎやう} 」 など	(知)オペラ、ミュージカル、バレエそれぞれに描 ^{えが} かれた当 ^{とう} 時 ^じ の社会 ^{しゃかい} のあり方 ^{ありかた} を理解 ^{りかい} している。 (思)オペラ、ミュージカル、バレエならではの表現 ^{ひょうげん} の特徴 ^{とくちゆう} を感じ ^{かん} 取 ^と っている。 (思)登場人物 ^{とうじやうじんぶつ} の心情 ^{しんじやう} がどのように表現 ^{ひょうげん} されているか感じ ^{かん} と取 ^と っている。 (主)オペラ、ミュージカル、バレエならではの表現 ^{ひょうげん} に関心 ^{かんしん} をもって鑑賞 ^{かんしやう} しようとしている。 (6)
後期	12月	詩 ^し 、短歌 ^{たんか} 、俳句 ^{はいく} をもとにして音楽 ^{おんがく} を作 ^{つく} ろう ・サウンド系 ^{けい} の音楽 ^{おんがく} とメロディー系 ^{けい} の音楽 ^{おんがく}	(知)音楽 ^{おんがく} を形 ^{かたち} づくっている要素 ^{ようそ} を理解 ^{りかい} している。 (思)好きな詩 ^し 、短歌 ^{たんか} 、俳句 ^{はいく} をもとにして、自分のイメージ ^{いめい} を膨 ^{ふく} らませながら創作 ^{さうさく} 表現 ^{ひょうげん} を工夫 ^{くふう} している。 (主)創作活動 ^{さうさくかつどう} に関心 ^{かんしん} をもち、意欲 ^{いよく} 的に音楽 ^{おんがく} を創 ^{つく} ろうとしている。 (6)
	1・2月	コンサートを開 ^{ひら} こう ー卒業演奏会 ^{そつぎやうえんそうかい} に向けてー	(知)楽器 ^{がっき} の奏法 ^{そうほう} を身 ^み に付 ^つ けて、演奏 ^{えんそう} している。 (知)曲 ^{きょく} にふさわしい発声 ^{はつせい} 、発音 ^{はつおん} で歌 ^{うた} っている。 (思)イメージ ^{いめい} をもって演奏 ^{えんそう} している。 (主)表現方法 ^{ひょうげんほうほう} (歌唱 ^{かしやう} ・器楽 ^{きがく} ・身体表現 ^{しんたいひょうげん})や表現形態 ^{ひょうげんけいだい} (ソロ・アンサンブル)を選 ^{えら} んだり、全 ^{ぜん} 員 ^{いん} で曲 ^{きょく} を選 ^{えら} んだりして、演奏 ^{えん} 奏会 ^{そうかい} を盛 ^も り上 ^あ げようとしている。 (主)自分の役割 ^{じぶん やくわり} に責任 ^{せきにん} を持ち、コンサート ^{さか} の企画運営 ^{きかくうんえい} にすすんで取 ^と り組 ^く もうとしている。 (14)

